

桐朋学園大学 楽典過去問題出題傾向統計

基礎単元	2010	2009	2008	応用単元	2010	2009	2008
※下記の単元ごとの詳細な出題傾向(統計Data)は、進学ガイダンスにて資料の開示、説明を行っております。							
譜表				音程			
音名				和音	スコアなどによる		
リズム・拍子・テンポ				調性判定		総合問題	
音程				移調			
異名同音程				和音(属九)			
協和音程・不協和音程				音階(和声長音階)			
音階(長音階・和声・旋律・自然短音階)				音階(教会旋法)			
調と調名・調号				音階(全音音階)			
近親調・遠隔調				音階の音名(上主音・上中音・下中音)			
移調				日本の音階(呂・律・陽・陰旋法)			
調性判定(旋律)				平均律			
調性判定(音群)				純正律			
調性判定(和音)				ピタゴラス音律			
三和音(長・短・増・減)				セント・ヘルツ・デンベルなどの単位			
七の和音(長七・短七・属七・減七)				倍音			
七の和音(減五短七)				楽語(反意語・同意語)			
和音の転回形(和音記号)				楽曲分析			
主要三和音・副三和音				楽曲の要約			
終止形				譜表(ソプラノ・アルト・バリトン)			
非和声音				楽器の分類			
装飾音符の種類				演奏の編成			
楽語(速さ・強さ)							
楽語(曲想・奏法)							
振動数比							
演奏時間の計算							
異名同音変換調							
和音記号(度数のみ)							
和音の機能(トニック・ドミナント・サブドミナント)							
小節数							
楽曲名と作曲者名							
楽器							

・難易度(☆～☆☆☆☆☆)

☆☆☆☆

・傾向と対策

近年の出題形式は、ほぼ変化がありません。課題となる楽曲が2種類与えられ、それに基づく各種の設問に答えるという形式になっています。調判定では、和音の流れを読むことが要求され後に続く和音の問題にも関連する部分があるのでより慎重に解答する必要があります。いずれの問題も付け焼刃では解答できない難問なので、普段から曲を分析したり背景の和声進行を探るなどの練習が必要不可欠となります。まずは基礎単元を完璧に自分のものし、その後は単元別の問題集→総合問題集→過去問題の順に取り組み、時間の配分など問題に慣れることが重要です。全問題を約30分で解けるようになることを目標にしましょう。楽典は、満点を探るつもりで臨むことが大切です。